

・今日の授業を聞き、三好さんは人を幸せにするために新聞を作っているのだなと改めて思いました。新聞はあまり読む機会がなかったのですが、新聞を読める時、自分から率先して読みたいと思いました。

・今回の講義を受けて、戦争終結に向けて私たちに何ができるのかということを考えさせられた。ロシアとウクライナの戦争の様子が書かれた新聞記事を見た。この出来事から半年たった今、今後このようなことが起こらないように私たちには何が出来るのか。また、戦争だけでなく、日本でも地震の危険性がある。こういった災害にも向き合っていないといけないなと考えた講義内容であった。

・情報リテラシーを養おう、という講義から新聞は人間の教養を養ってくれる利便性の高いものということが分かりました。新聞の特徴として、網羅性と一覧性が挙げられていましたが、今まで読みたい内容だけを読むだけでそのことに気づきませんでした。今後そのことを意識してできる限り広い範囲の内容を読むことが私の人間としての進歩に繋がるのではないかと感じました。

・まず私は、実家で新聞を取っておらず、あまり読むことがありませんでした。新聞を普段から読まない私からしたら、読み方がわからず、全ての記事を読むしかないのかと思っていました。しかし今回の授業を受けて、全て読むのではなく、見出しと前文だけで一通りめくれば必要情報が大体わかり、そこで興味関心が広がれば様々な記事に転がり、新聞は私が思っている以上に難しくなく、簡単なのだとわかりました。最近では、ネットで簡単に記事が見れるので新聞などは必要ないと思っていましたが、フェイクニュースなどのデマ情報が大量に流れている SNS だけではなく、新聞など様々な記事を読んで事実確認をすることも必要で、新聞を軽く見るだけでも視野は広がるのだと今回の授業でわかりました。

・ウクライナ侵攻の記事を例に新聞の特徴を

1. 網羅性
2. 一覧性
3. 信頼性

といった特性から東西冷戦から現在に至るまでの世界情勢をアメリカとロシア（ソ連）の双方の視点から解説して下さい、また情報化社会においてデマ情報・フェイクニュースが広まりやすい SNS と比較しても、オールドメディアたる新聞は様々な視点で一定以上の信頼・根拠のある情報を得る事ができる点も自分の興味のある情報だけを取り入れがちな現代に一層必要であると考えました。

・今日の授業を通して、まず新聞が他のメディアに比べて持っている特長を学べた。それが網羅性、一覧性、信頼感なのである。そして、ウクライナ問題に対して

印象が最も残り、戦争が残酷で現地の人々に大きな痛みを与えたことが明らかになった。誰もが戦争のない世界、地球上で人々が平和に暮らせる世界を望んでいると思われる。そこで新聞が重要な役割を果たすと考えている。新聞は世界で起きていることを報道することで、事態に多くの光を当て人命と人権を側面から守ることができるのである。つまり、新聞は私たちにとって重要であり、かけがえのないものだと思われる。

- 新聞の良さとして「裏付けされた事実」が書かれていることが挙げられた。

確かに記者がしっかりと金と人材を投入して取材をして得ている情報は間違っていることは少ないと自分も思う。

ただ新聞社によっては必要なことを報道しなかったり、不必要な情報を「間違っていない」といった形で偏向的に報道したりすることが「新聞社」というブランドがある分厄介であると思う。

あと、単純に紙がペラペラしている上に大きくて読み進めづらい。新聞に対してそういった改善点があるのではと感じた。

それと多くの人の目に触れる新聞でモノを書いている関係上仕方がないとは思いますが、どうも新聞記事も話も所謂「キレイごと」といわれるものが多いと感じた。

偏向的な報道をする新聞社、キレイ事だけの新聞社が無くならない限り、ネットで正しい情報を取捨選択する方を選んでしまうと思った。

- 今回の講義では、ウクライナとロシアの戦争や震災、戦争によって亡くなられた方などについて話されていました。この中でも、最も印象に残った内容は戦争についてです。

現在もロシアとウクライナでは戦争が起きており、様々な人が死んでいく中、我々日本人にできることは資金提供や声を上げることなど、非常に限られたことばかりです。このような、無関係な人々が不幸になる戦争が一刻も早く終わればなと思いました。また、フェイクニュースや終末時計など様々な情報が飛び交う中、限られた情報を正確に見極め、現状を知っていくことが大切だと感じました。

- 今日の授業では新聞の魅力について、同じ日々の新聞でも、地方紙や日経新聞などが取り上げている伝えたいことが違うことを知りました。

また地震のことについて改めて振り返り、兵庫の参院選で候補者が数多く出た中、地震について注目していたは2人ぐらいだと聞いて、これからもし南海トラフなどの地震の危機感を伝えたり対策したりなど、阪神大震災のように地震について頭に残っていないとまた大変なことになってしまうと思いました。

自身の問題もそうだけど、いまのウクライナやロシアの戦争などについて、全世界の人達が知る権利があるなと思いました。戦争はあっては絶対にならないと思うし、食料問題や地球温暖化や自然災害や難民問題など数多くの問題がこの地球には

あるので協力して世界がより豊かになればと思いました。私も新聞には様々な情報が載っているのでネットや新聞などを読んだりして世界の情報を学んでいきたいと思いました。新聞は偽情報の多いネットと違って、正しいことしか載っていないので今日の講義を聞いて良かったです。

- 今日の授業で、新聞の役割は信頼できる情報、安心できる情報を伝えることというのを三好記者がおっしゃっていてやはり信頼、安心というのを大事にしているのだなと思いました。

一人暮らしを始めてからあまり新聞を読む機会がないのでこれを機に読んでみようと思います。

- 普段新聞を読む機会がなく、ニュースなんかはスマートフォンやテレビで見るので今回の特別授業ではとても新鮮に感じました。今まで全く新聞を読んだことがなかったのも、見出しとか記事本文の構成などがあることが驚きました。写真や見出しによって読んでみたいと思う記事がそれぞれ異なるので、そこが新聞の面白さだと思いました。ネットニュースと新聞の違いは、ネットニュースだったらある意味誰でも書き込めるので写真の編集などでフェイクニュースにも書き換えることができるので、ネットニュースは情報量が多いが信憑性が欠けるところが仇となります。三好さんが記者になられた理由が松田聖子のファンだったからという理由で記者になられたというお話を聞いて、私は印象に残りました。なぜなら、趣味や憧れから夢にたどり着けるのはごくわずかな人しかいないと思うので、希望が持てました。

：• 普段、新聞は文字だらけで読む気が失せてしまうという理由から全く新聞を読まないのですが、今回ちゃんと新聞記事と向き合っ、今日本でどのようなことが起きているのか、世界でどのようなことが起きているのかなど、文字で細かくびっしりと記載されていて驚きました。

現在、世界各国で悲惨な状態になっているということ、新聞にどれだけの大事な情報量が詰まっているのかなど、新聞の重要性を改めて実感しました。

テレビや携帯はよく見るので、ニュースやネットなどの情報を自然と入手できたりしていますが、ニュースやネットには書かれていない内容が新聞には記載されているので見る意味があるし、面白いなと思いました。

また、今日の講義の中で新聞から情報を読み取って文字におこしたり、気になる記事を見つけて発言したり、読む人に対していかに興味を持って読んでもらえるかなど新聞の記載の仕方を考えていて、知らなかった情報源を入手することができ、また普段絶対にしないようなことをしたことにより勉強になり、良い機会になったかなと思いました。

新聞記事は信頼性があり、安心な情報・為になる情報が詰まっているということ

から若い人から年寄りの方までの幅広い年齢層で読む人が多いということを今回で知ることができたので、これから新聞記事を読む機会を作って、社会のことなど知識をたくさんつけていかないといけないなと思いました。

・私は子供の頃から、あまり新聞を読まないが、台湾の新聞は大体芸能人の艶聞についての事を掲載しているだけで、だからあの時の私は新聞に興味を持っていない。でも、今日の授業を受けたら、新聞の印象が変わった。日本には新聞の正しさを求めている。その上に、新聞は信頼できるものです。これは新聞会社の拘りです。私はこんな精神を尊重しています。新聞は長い歴史があるメディアの一種であり。新聞がこんなに長く生きていられるのはきっと理由があるはず。今日は新聞の三つの機能を学びました。まずは網羅性です。新聞に掲載しているニュースのジャンルはスポーツとか、経済とか、文化などあって、読者は自分が好きなニュースを読める。次は一覧性です。新聞は大体紙面に大きなタイトルで読者に読みやすいページデザインです。読者は一目で簡単に紙面の全体を見て、最近何か起こったのかすぐわかる。最後は誰でも気づいてないかもしれないが、最も重要な特長です。それは「信頼性」です。現在のネットはどんどん便利になってきたが、その代わりに色々危険性もある。例えば、フェイクニュースや詐欺サイトです。子供はあるニュースを見る時、そのニュースは本当に正しいかどうか分かりにくい。成人も騙される状況もあります。現在の新聞はだんだん衰退しているが、需要者がいる限り、新聞会社は正しいニュースを提供し続ける。